

「これまでの検証の振り返り」に関する質問に対する回答

この回答は、長野市事務処理の在り方検討委員会（青木島遊園地廃止関連）第4回外部委員検討委員会において外部委員で確認した「これまでの検証の振り返り」に対し、傍聴者並びに報道関係者から議事終了後に書面で提出を受けた質問に回答したものです。  
 ※参照資料：「長野市事務の在り方（青木島遊園地廃止関連）」についての検討結果（案）

	質問	回答
1	<p>(5)～(7)は、必要な範囲での検討に留めるとあるが、具体的にどのような検討がされたのか。</p> <p>特に廃止公表後、地元や保護者等と適切に合意形成は諮られたのか、どう評価されているのか知りたい。</p>	<p>(5)～(7)に属するのは、「5 その他の検討事項」のところでお話した、個人情報やプライバシーの適切な取扱いについての検討の箇所となります。廃止決定（令和4年1月19日）後の令和4年12月8日のプリーフィング（ステージ5）の際に、特定の個人を推測させるような発言をしてしまったことについての検討となります。</p> <p>令和5年2月11日に住民説明会を実施し、267名の方に参加して頂きました。参加者の方からの要望の中には遊園地廃止に反対する意見もあり、市長も再検討を表明したところですが、本報告にもありましたように、再開は不可能な状況にありました。報告でも出ましたように、市は廃止決定前に説明会を開催していなかったわけですが、そもそも廃止を決定する前に説明会を行うべきだったというのが検討会の意見となります。</p>
2	<p>一部の事務手続では、経過を記録した公文書が作成されていなかったことが、これまでの報道で明らかになっている。</p> <p>市は、指摘を受け、公文書を作成すると方針を変更したが、外部委員としては市の一連の対応をどう評価し、今後どうあるべきと考えるか。</p>	<p>令和5年1月26日から2月24日までに行われた地権者との協議記録の件（ステージ7）と推測致します。当初は職員のメモで公文書化されていないという扱いをしておりましたが、市長の記者会見発言を受けて、5月1日付で公文書化致しました。検討委員会としましても、記録を残すことは重要であるというように考えております。</p>
3	<p>今回、廃止決定までルールが、公園設置～廃止までの各ステージで大きく分けて4つのステージで明確化されていなかったとの指摘ですが、廃止決定の住民への説明が不十分だということに関しては今後検証されていくのでしょうか。</p>	<p>令和5年2月11日に住民説明会を実施し、267名の方に参加して頂きました。参加者の方からの要望の中には遊園地廃止に反対する意見もあり、市長も再検討を表明したところですが、本報告にもありましたように、再開は不可能な状況にありました。報告でも出ましたように、市は廃止決定前に説明会を開催していなかったわけですが、そもそも廃止を決定する前に説明会を行うべきだったというのが検討会の意見となります。</p>

外部委員 石津 廣司  
 栗田 晶  
 青木 弘